

はじめに

平成31年4月18日、全国学力・学習状況調査が全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われ、その調査結果が7月末に公表されました。

本県では小学校の国語が目標とする全国平均を上回るなど、学力向上の兆しが見えてはきているものの、中学校では、国語、数学、英語の3教科すべての教科で全国平均を下回っており、依然として厳しい状況にあると受け止めています。そして、この中学校の全教科で全国平均を下回る結果は7年連続となっています。

学校教育は、学力向上のみを目的とするものではなく、教科指導だけが学校の活動ではありません。しかしながら、確かな学力の定着は、学校教育に求められる中心的な使命です。確かな学力が定着しなければ、児童生徒の将来にも影響を及ぼすことになり、児童生徒の無限の可能性を閉ざしてしまうことにもなりかねません。

一方、学習状況調査からは、本県では「地域の行事に参加している」、「ボランティア活動に参加したことがある」、「学校の授業の予習・復習をしている」などの質問項目で全国平均と比べ高い傾向にあり、社会参画に対する意識が高かったり、基本的な学習習慣は身に付いていたりする状況にあります。今後とも、本県の児童生徒のよさを伸ばしながら、各学校の取組を充実させる必要があります。

そのためには、まずは、確かな学力の定着に向けて、本報告書を用いるなどして、誤答傾向を分析し、自校の児童生徒の実態をしっかりと把握することが有効だと考えます。そして、それぞれの教科、学年、学校全体で課題を共有し、これまでの授業実践・指導法を振り返りつつ、今後、どのような指導法が成果をさらに伸ばし、課題克服につながるのかを深く追究し、今後の改善策を具体的に進めてください。また、本冊子には、確かな学力の定着を図るための「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善や、成果があった取組などについての特集を組むなど、学力向上に向けたヒントも盛り込みました。積極的に日常の授業等に取り入れていただきたいと思います。

本県の将来を担う児童生徒の確かな学力の定着は、鹿児島県の喫緊の課題です。県教育委員会としても、全力で各市町村教育委員会及び各学校と協力しながら取り組む所存です。児童生徒の確かな学力の定着が図られるよう取組の充実をお願いします。

目次

○ 県全体の調査結果〔公立〕	
1 教科に関する調査の結果概要	1
2 地区別の平均正答率	2
<特集>	3
特集1 確かな学力の定着を図るための「主体的・対話的で深い学び」 の視点による授業改善	
特集2 成果があった具体的な取組事例	
特集3 児童生徒の自己有用感を高める集団づくり	
3 教科別、観点別及び領域別の結果概要	1 1
4 指導法改善のポイント	1 5
・小学校国語	1 5
・中学校国語	1 7
・小学校算数	1 9
・中学校数学	2 1
・中学校英語	2 3
5 質問紙から見える本県の児童生徒の姿	2 5
6 児童生徒質問紙の結果概要	2 7
7 学校質問紙から見える本県の学校の姿	3 5
8 学校質問紙の結果概要	3 7
9 クロス集計結果	4 1
10 本県の学力向上施策	4 3
11 全国学力・学習状況調査「学年・領域ごと」整理表	4 7
○ 市町村別の調査結果	別冊